

春の火災予防運動 3月1日~7日

東淀川消防署開放デーを開催!!

東淀川消防署では、3月19日(日)10:00~14:00に体験型イベント「消防署開放デー」を開催します。

大阪市立阿倍野防災センターマスコットキャラクターレスキューパンダ たすけるも来るよ!



©2016.04 OMFDT たすける

皆さんが安心して暮らせる災害に強い東淀川区
東淀川消防署

消火隊

消火隊 隊員
小笹 升さん

火災から皆さんの命や財産を守るために、迅速な消火を行い被害を最小限にするのが消火隊です。出場指令が入れば防火服に着替え、火災現場へ急行します。防火服と資器材は総重量で30kgを超えることもあります。

以前にマンションの火災で、燃え盛る炎で肌が焼けるような熱さの中、全く視界のない部屋に入っていく、消火活動をしました。生きて帰れるか分からない火災現場を経験し、より消火隊のプロフェッショナルになるべく、日々訓練に取り組んでいます。

出場していない時は、火災原因の調査、消火栓の点検、防火指導、救命講習、道路工事などの届出の受理を行っています。

私のモットーは「笑顔」です。区民の皆さんに消防士がもっと身近な存在になってほしいと思っています。私たちを見かけたらお気軽にお声がけください!

最後に、火災現場は本当に悲惨です。日頃から火の用心をお願いします。



水を武器に火災と戦う消火隊。身近な存在になるため笑顔で活動しています。

救助隊

救助隊 副隊長
塚元 祐司さん

火災や救助事案などが起こったときに出場し、逃げ遅れたり動けなくなったりした人を助けるのが救助隊です。

救助事案は水難事故、列車事故、高所事故、低所事故など多岐に渡ります。東淀川区には阪急の2線と地下鉄もあり、比較的列車事故が多い地域となります。

東日本大震災の際に緊急消防援助隊の1次派遣隊として派遣されました。私が活動した町は津波により壊滅状態で、地平線まで続く瓦礫の光景に「ここは日本か」と信じられない状況でした。広島の大震災の際にも派遣され、それらの経験によって「自分で考えて行動すること」を心がけるようになりました。

災害は日々多様化しており、毎日行っている訓練に終わりはありません。隊員のモチベーションになっているのが救助の技術を競う大会で、3月に救助練成会があります。各隊員が大阪市の代表を勝ち取るべく、日々訓練に取り組んでいます。



東淀川救助隊の魁(さきがけ)隊長としてどんな災害にも一番に進入します!

救急隊

救急隊 隊員
片木 美里さん

病気で具合が悪くなったり、事故でけがをした人に応急処置を施して、救急車で病院に搬送するのが救急隊の役割です。皆さん辛い思いをして救急車を呼ばれるので、寄り添って安心していただけるように対応することを心がけています。

私が1年目の頃、救急現場で出産に立ち会ったことがありました。救急車の車内で赤ちゃんが生まれ、私たちが取り上げることになりました。おめでたいことに立ち会えた貴重な経験でした。

コロナ禍で搬送先の病院が決まりにくかったりお待たせしたりすることが続いています。ご本人やご家族の不安が少しでもなくなるよう、私たちは常に精一杯活動しています。大丈夫と思っても重症であるケースもあります。おかしいと思ったら救急を呼んでください。迷ったときは#7119(救急安心センターおおさか)で相談できますのでお電話ください。



不安な気持ちに寄り添って搬送します。急な病気やケガで迷ったら、#7119へお電話を!

東淀川消防署は、上記を含め次の4つの担当があり、それぞれが協力して「災害に強いまち・安全な都市」をめざしています。

東淀川消防署

管理担当

職員の人事給与、福利厚生、安全衛生、契約、庁舎及び物品管理等を行っています。

地域担当

区民の皆さんとともに安全安心なまちづくりに向け、地域の防火防災に関する取り組みを行っています。

予防担当

火災予防の広報活動や建物の立入検査を通じて防火管理、避難管理、消防用設備等の維持管理について指導しています。

警防担当

- 指揮隊
- 消火隊
- 救助隊
- 救急隊
- はしご隊

皆さんとともに歩む「東淀川消防署」をめざして

東淀川消防署は、皆さんが安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」をめざし、消防署が保有する人員及び資機材を最大限に活用して災害に立ち向かっております。

また、傷病者には高度な救命処置を施し迅速かつ適切に救急搬送を行うことで、皆さんに安全と安心を提供してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



東淀川消防署長
居垣 裕之

東淀川消防署 ☎6320-0119

広告